

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 033	提案機関名 一般社団法人神奈川県園芸協会
要望問題名 ブドウ裂果の防止対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ブドウ栽培にとって、裂果は大きな障害であり、裂果が著しい時には収穫が大幅に減少してしまう。 裂果が起こる場合、その現れ方は品種によってそれぞれ特徴があり、一様ではないが、大別すると3つの型があり、第一は果粒が密着して裂果するもの、第二は果粒の粗密に関係がなく裂果するもの、第三は病害に侵されてその結果裂果するものがある。必ずしもどれか一つに当てはまるものでなく、それらが重複して出ることが多い。 種々考えられる裂果の原因を除く、防止対策の試験をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 裂果の発生には品種間差が大きく、品種構成の変化に応じた対応が重要であると考えています。 近年、‘シャインマスカット’などの皮ごと食べられる品種の需要が増加しており、黒系品種では‘ナガノパープル’が有望と考えられますが、裂果の発生が多いとの報告があります。 そこで、‘ナガノパープル’の裂果防止対策等について、試験研究課題化に向けて検討します。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	